

の主任を配置するものである。

課の設置条例では6課、会計、教育については規則で定める。

●議案第98号

・平成18年度介護保険特別会計(第3号)について

□審査の結果

賛成全員で可決すべきものと決定。

歳入は国県等負担金等の交付決定に伴い歳入見込を精査し、介護保険料、国庫支出金、支払基金交付金、県支出金、町繰越金等増額補正するものである。歳出は、介護給付費は給付実績に基づき年間給付見込額を算出し、当初見込額との差額の増額補正、特定高齢者の介護予防事業費は認定者が23人と少なく実施ができなく、一般高齢者を含めて実施するための予算の組替えである。

●陳情第7号

・難病医療費適用範囲見直しについての陳情

□審査の結果

賛成全員で採択すべきものと決定。

産業建設常任委員会報告

閉会中の委員会調査

平成18年11月30日(木)

1 観光事業民営化と進捗状況について

8月31日 職員への説明(助役、総務課長)

9月8日、11日 日本ケールによる個人面談実施・条件提示

10月5日 二居スキー場廃止説明会(二居町内会集会場、町内会役員)

廃止やむなしの声、リフトの早急撤去、撤退後の地域振興への支援の要請があった。

10月11日 ロープウェイ臨時職員への説明会。

23名参加 日本ケールより、一緒にやっていただきたい旨の発言があった。

10月17日 町民説明会(会場ロープウェイ事業所64名参加) 民営化には理解も情報不足を指摘された。

11月6日 商工会、観光協会への説明会(商工会会議室25名) 日本ケ

ールも同席。町長より情報不足をお詫び。11月21日 企業運営委員会

臨時職員の雇用の確保、協定書と契約書の相互の関係の明記等の発言があった。

2 冬季道路確保計画について

11月22日 企業体4社と除雪会議を行った。計画は昨年と同じ。昨年の教訓を生かしたい。湯沢駅の隧道の水が減ってきて

広場に回らない。東口、西口の駅広場の除排雪のために、大型のタイヤド

ーザーを設置して対処すべく予算要求をしている。

消パイの水不足のときは除雪計画とは別にこれを使用する。消雪井戸の手

当てをしたが本数が多いので全部はできなかった。

投雪場所については穴沢公園を第1に、中央公園を第2に事前指定する。

3 三俣地区下水道計画について

□調査結果

特環の事業認可ができる一手前まで来ている。処理場の位置と管渠の正式な位置が未定。処理場は八木沢のグラウンド下流を考えているが、振興計画における土地利用、清津川河川改修計画、河川区域決定未確定のため整合性を持たせたい。接続に不安があったためアンケート調査を行った。(10月25日、11月10日) 発送97、回答62。現在の浄化槽等水洗化実備49軒、下水道が整備された場合3年以内に接続する46軒、接続しない13軒(老人世帯5、ありがたいが料金が高い、民宿8、現在の浄化槽でいい。)

閉会中の委員会審査

平成18年12月14日(木)

●議案第87号

・湯沢町農業委員会の選挙による委員の定数条例の一部を改正する条例の制定について

□審査の結果

賛成全員で可決すべきものと決定。

法律改正により、土地改良区の推薦による農業

委員を1名選出することになった。これにより委員数15名のうち選挙による選出者を12名から11名に減らし、定数を現状どおりとするもの。

●議案第97号

・平成18年度下水道特別会計補正予算(第3号)について

□審査の結果

賛成全員で可決すべきものと決定。

歳出のみの補正予算。主なものは、18年度の消費税の中間納付が増えたことによる1千440万円の増。湯沢処理場の汚泥脱水機修繕料400万円の増。神立田中地内歩道改良ができなかったため汚水管敷設工事1千240万円の減、三俣整備計画の委託料6千700万円の減など。

●議案第99号

・平成18年度水道事業会計補正予算(第2号)について

□審査の結果

賛成全員で可決すべきものと決定。

収益的支出の補正341万2千円増。

■主なもの

棚卸し限度額200万円増。